

小学校 2年 道徳

考える
感じる
想像する
表す

話す・聞く
書く 読む

育成したい
国語力

言葉や文から、書き手の心情や考えを察したり、楽しさを感じ取りながら読む。面白かったこと、印象に残ったこと、伝えたいこと等について聞いたり話したりする。似たところや違うところ、移り変わりを整理して書く。

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
図画
工芸
技術

家庭
技術
家庭

保健
体育

特別
活動

道徳

総合的
な学習

主題名

音楽とともに 「友だち何人できるかな」 (京のこども 明日へのとびら)

資料名

とも なんにん

指導内容

1 - (2)努力・向上

本時の目標

自分の夢に向かって努力し続けることを大切にできる心情を育てる。

本時の流れ

導入

楽器あてゲームをする
・いろいろな楽器の音色を聞き、楽器をあてる。

本時の学習内容を知る

展開

前段
資料を読む

内田さんのすごいなと思うところはどこですか。なぜそう思うのですか。

がんばっていることや続けていることの発表

- ・ワークシートにまとめる。
- ・隣同士で交流し合う。
- ・友達のがんばっていることを紹介する。

後段
手紙を書く

- ・自分のがんばっていることを内田さんに知らせる。

終末

内田さんの演奏を聴く。
本時の振り返りをする。

視点 ①

感じる力・想像する力

言葉や文から、書き手の考え方や心情、様子を思い描きながら読み「感じる力」「想像する力」を育てます。

視点 ②

表す力

隣同士によるペアの話し合いは、発言の苦手な児童にも自分の考えや取組を発表する機会を与え、自信をもたせることができます。また、友達のがんばりを聞いて、学級のみんなに分かりやすく紹介することを通して「表す力」を付けることができます。

視点 ③

考える力

書く活動を通して、児童はじっくりと自分自身を見つめ、考えを明確にすることができます。気付かせたい価値と主体的に向き合えるように、どの場面で、どのように書かせるかをはっきりとさせることが大切です。

国語力育成の視点

道徳の時間には、資料を読むこと、資料を読んで資料の世界を想像したことを話し合うこと、話し合いを通して自分の生活を振り返り書くことなど、豊かな心をはぐくむために言葉が大きな役割を果たしています。

特に話し合いは、児童相互の考えを深める中心的な学習活動です。目的や場面に応じて、自分の考えをもって相手に分かるように話したり、相手の話の要点を聞いたりします。討議形式で進めたり、グループやペアによる話し合いを取り入れたりして、効果的に話し合いが行われるよう工夫をすることが大切です。

ワークシート

だれに、何を、どのように書くのかといった視点を常に意識させて書かせましょう。

ワークシート

答えの書き方を意識させます。

ここがポイント

- ・わけを書く。
- ・手紙を読む人の気持ちになって書く。
- ・やっていて楽しいことだけでなくこまだったことやいやだなと思うことも書く。

道徳プリント2 内田さんへの手紙
(つづけてきてよかったなあといっている内田さんに、あなたのゆめとがんばりをつたえよう。)

がんばっている自分

ゆめにむかってがんばっている自分のすがたを絵にかこう

がんばりはじめたわけ

(「〜からです。」を使ってせつ明しなさい。)

がんばっていること

道徳プリント1 わたしのがんばり